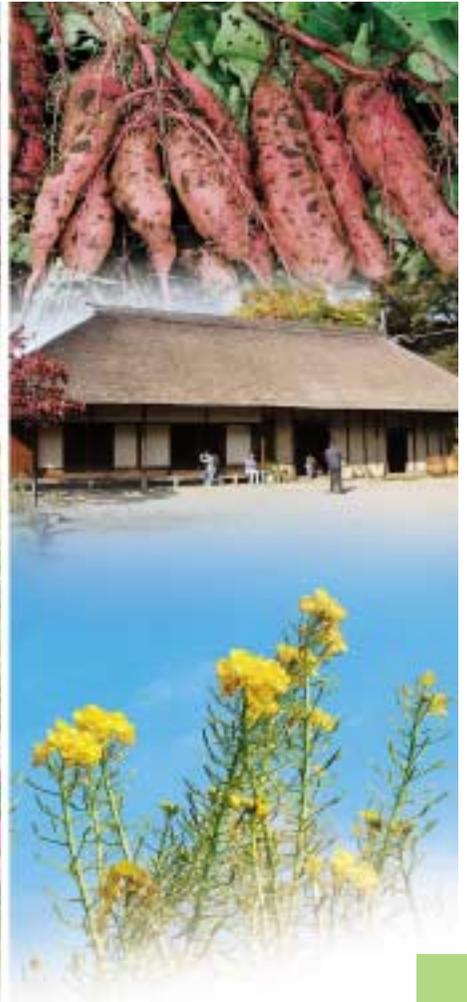
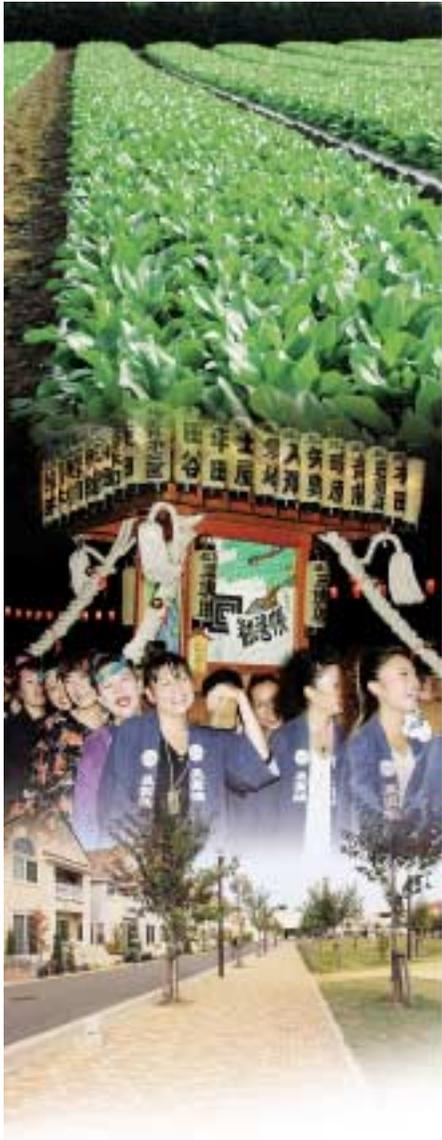


みんながつくる みどり いきいき ぬくもりのまち



みんな笑顔をつなぐまち

A town that makes people smile

三芳

MIYOSHI

みんながつなぐ よろこびあふれる しあわせ創造都市

埼玉県 三芳町勢要覧 **2008**

POST CARD

お手数ですが、
切手を
お貼りください。



【みよしまつり】

Miyoshi Festival

夏の終わりを締めくくる三芳町の一大イベントです。毎年9月の第1土曜日に運動公園で開催されます。

POST CARD

お手数ですが、
切手を
お貼りください。



【富の川越いも】

Special Sweet Potatoes,
Tome-no-kawagoe-Imo

三富（さんとめ）地区でつくられるサツマイモは「富のいも」と呼ばれ、江戸時代からおいしいと評判でした。

POST CARD

お手数ですが、
切手を
お貼りください。



【雑木林】

Coppice

武蔵野台地の北東部にあたる三芳町。町内には武蔵野の面影を今に伝える雑木林が多く残されています。



Miyoshi Town

【みよしまつり】

Miyoshi Festival

夏の終わりを締めくくる三芳町の一大イベントです。毎年9月の第1土曜日に運動公園で開催されます。



Miyoshi Town

【富の川越いも】

Special Sweet Potatoes, Tome-no-kawagoe-Imo

三富（さんとめ）地区でつくられるサツマイモは「富のいも」と呼ばれ、江戸時代からおいしいと評判でした。



Miyoshi Town

【雑木林】

Coppice

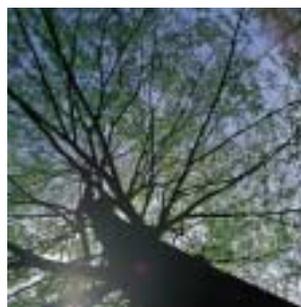
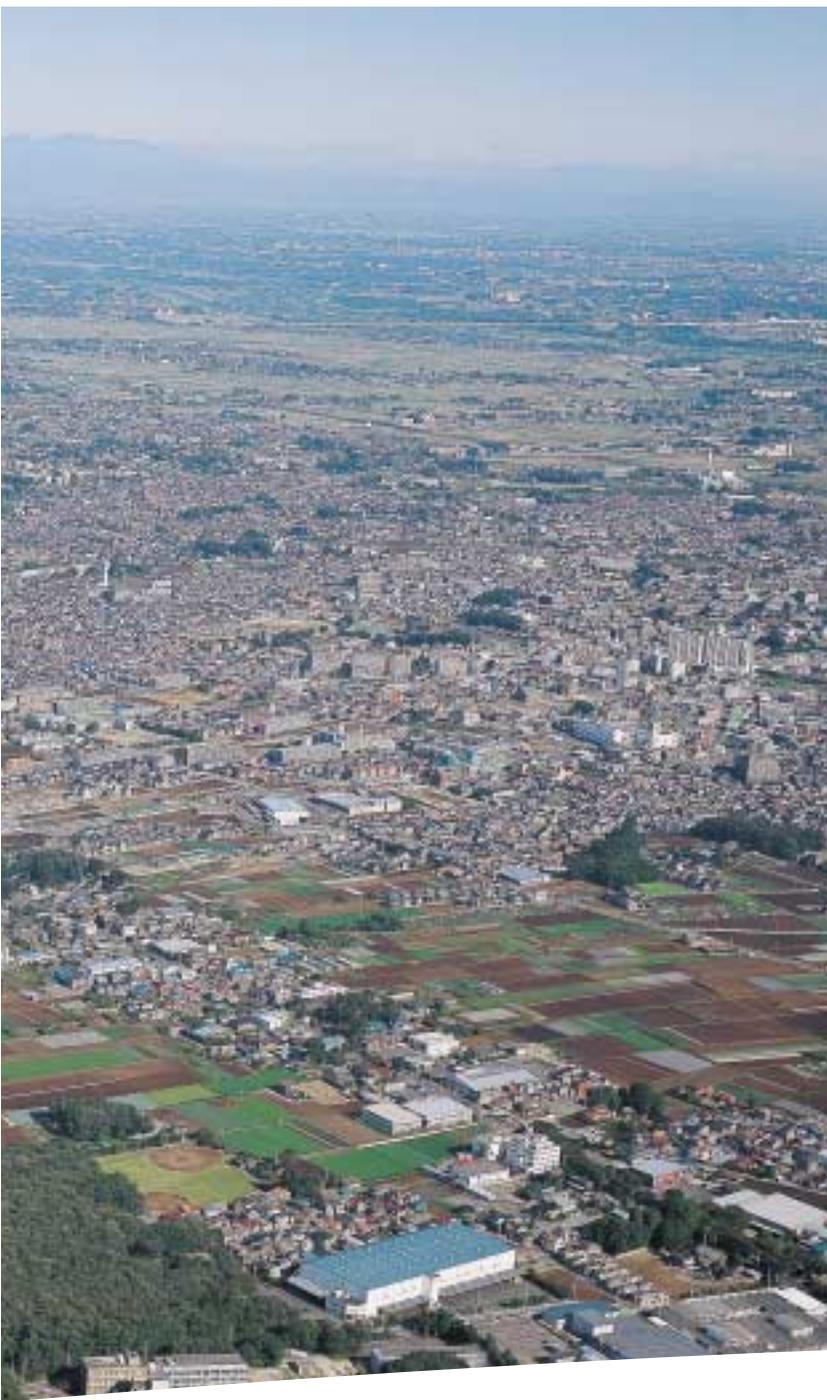
武蔵野台地の北東部にあたる三芳町。町内には武蔵野の面影を今に伝える雑木林が多く残されています。



2007.10.21 撮影

みんなで笑顔をつなぐまち





町の木◎けやき

Town Tree : Zelkova

「けやき」は町内に多く見られ、四季を通じて情緒があり、早春の発芽の美しさは、樹形の雄大さとともに関東の風物詩となっています。限りなく大きく育つ「けやき」は、町を象徴するにふさわしいとして、町の木に決めました。



町の花◎きく

Town Flower : Chrysanthemum

「きく」は、別名をチギリグサ・モモヨグサなど長寿にちなむ名で呼ばれ、四季を通じて町内のあちこちに、豊かな趣をえています。町民の長寿を願うものと、春夏秋冬花を見ることのできる「きく」は、町を象徴するにふさわしいとして、町の花に決めました。



町の鳥◎ひばり

Town Bird : Lark

「ひばり」は、四季を通じて生息する鳥で、古くから私たちの生活とはなじみが深いものです。都市化の進むなかにあって、折に触れその鳴き声を耳にすると、心のやすらぎを感じ、かつての武蔵野が偲ばれます。町を象徴するにふさわしいとして、町の鳥に決めました。

■ 地勢 ■

三芳町は首都圏30kmに位置し、埼玉県の南西部、武蔵野台地の北東部にあたり、東経139度31分、北緯35度49分。海拔は37.5m前後、面積は15.30km²です。東西は6.9km、南北は4.2kmにわたり、東は志木市・富士見市、南東は新座市、南西は所沢市、北はふじみ野市・川越市と隣接しています。





みんなで笑顔をつなぐまち

A town that makes people smile

三芳

MIYOSHI

みんなでつなぐ よろこびあふれる しあわせ創造都市

2008

埼玉県 三芳町勢要覧



三芳町長
鈴木 英美

Mayor, SUZUKI Hidemi

皆さん、こんにちは。町行政をお預かりして
います町長の鈴木です。三芳町は首都圏30キロ
メートルに位置し、恵まれた交通環境を背景に、
各種流通拠点施設が立地する活気あるまちです。
一方で「都心に最も近い緑のオアシス」という
キャッチフレーズをもとに、緑豊かな雑木林や
田園風景が残る、歴史文化のまちでもあります。
このような三芳町の魅力や取り組みを、この町
勢要覧を通して再発見していただき、そこから
「自分のできることはあるかな」「参加してみよ
うかな」…そう思っていただけならと願ってい
ます。三芳町は15平方キロメートルの枠におさ
まった小さなまちですが、さまざまな可能性の
ある、夢を持ったまちです。三芳町の持つポテ
ンシャルを生かしていくためにも、住民の皆さ
んの協力が不可欠です。まちづくりワークショ
ップや懇話会など、住民と町、地域が対話でき
る場を積極的に設けていますので、ぜひ参加し
ていただき、「住んでよかった」「生まれてよか
った」と実感できる、『元気がでるまち』をつく
っていききたいと思っています。自分たちの住む
町のために一緒に汗を流してみませんか。

Address on the occasion of publication

My name is SUZUKI Hidemi, the Mayor of Miyoshi Town. The town is 30 km from the Tokyo metropolitan area and is vigorous with various facilities for distribution due its advantageous location. In addition, Miyoshi is also a culture and history-oriented town, preserving its green groves and rural scenery under the catchphrase of "The green oasis closest to central Tokyo." I hope that you will review the fascinating aspects of Miyoshi Town and various activities through this summary and feel that there may be something that you can do to take part in Miyoshi. Miyoshi Town is small, with only an area of 15 km², but it has many dreams and a lot of potential. In order to make use of such potential, collaboration with the residents is indispensable. As we aggressively offer opportunities for communication between residents, the town and communities, including workshops for the improvement and development of the town and informal discussions, please participate to help us become a lively town where we can be happy to live. Let's work together for our own town!

Contents

4	フォトギャラリー
8	まちの魅力を再発見！ 子ども編集室
	① 本の楽しさと出会える中央図書館
	② 歴史民俗資料館で歴史を学ぶ
	③ 元気と笑顔の拠点 総合体育館
	④ 笑顔と文化をはぐくむ コピスみよし
12	ふるさとの誇り自慢
	三富新田の開発
	サツマイモ白書
16	みんなで考える 子育て座談会
	三芳町で子育てし隊
	子育てを応援します！三芳町の子育て支援いろいろ
22	ふるさとの「魅力」探訪
	歴史を学び未来へつなぐ
24	まちづくり宣言 佳良二言インタビュー
26	未来につなぐまちづくり
	みんながつくるみどり いきいきぬくもりのまち
	パートナーシップのまちづくり
	健康とぬくもりのまちづくり
	豊かな生涯学習をはぐくむまちづくり
	みどり豊かで安心のまちづくり
	環境と調和した活気にあふれるまちづくり
32	議会
33	統計資料編
40	施設案内
	三芳町イラストマップ



人と人、文化がふれあうコピスみよし
Culture Hall Coppice Miyoshi, which promotes exchanges between people and cultures

夏の終わりの風物詩、みよしまつり
The Miyoshi Festival, a charming sight at the end of summer



Photo Gallery

武蔵野の自然に恵まれた三芳町。
四季を彩る表情豊かな情景は、見る人の心を安らげてくれます。



武蔵野の面影を残すふれあいの森

The Fureai-no-mori forest for communication with nature
and living things that still retains traces of the Musashino Plateau



三芳町役場とコピスみよし前の桜並木

Miyoshi Town Hall and a road lined
with cherry trees in front of Culture Hall Coppice Miyoshi



四季の移ろいが美しい竹間沢こぶしの里

Chikumazawa Kobushi-no-sato Park,
where beautiful changes of the seasons can be seen

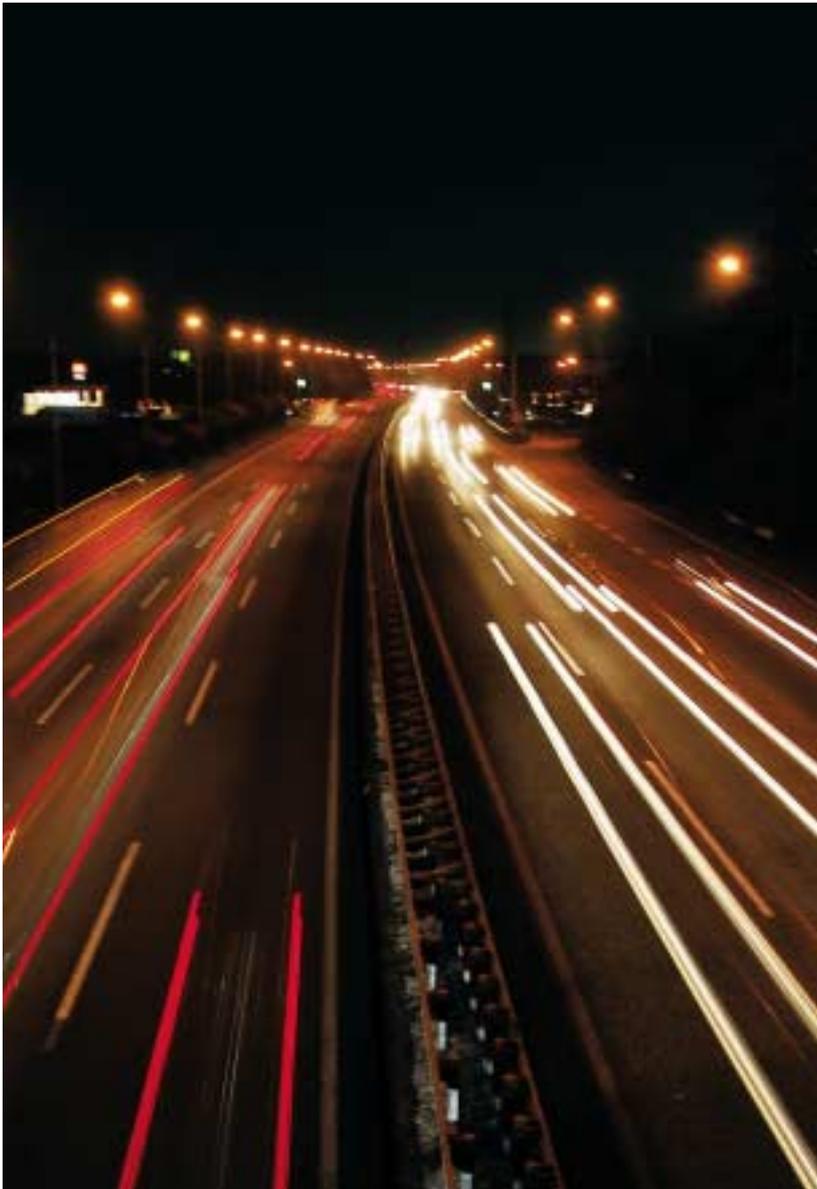


スポーツ活動の拠点、総合体育館

The Municipal Gymnasium, the base for sports activities

都心とまちをつなぐ光のライン、関越自動車道

The Kanetsu Expressway,
the line of light connecting central Tokyo and Miyoshi Town



三芳スマートIC

Miyoshi smart interchange



一面に咲き広がるソバの花
Carpet of buckwheat flowers



Photo Gallery

先人たちが残した美しいふるさとを礎に
三芳らしさを生かし
未来へと続くまちづくりが進んでいます。

地域で守り伝えられている上富まつり
The Kamitome Festival,
which has been carefully passed on by the community



2 歴史民俗資料館で歴史を学ぶ



● 旧池上家住宅
The old Ikegami Family's House

幕末から明治時代の初め頃に建てられたと推定される民家で、三芳町の有形文化財に指定されています。今ではほとんど見られなくなった伝統的な建築技術をいたるところに見ることができます。

昔の暮らしを体験
次に歴史民俗資料館にやってきました。館内の常設展示室では、「拓く」をテーマに武蔵野台地に暮らしてきた人々の、原始・古代から近世までの時代を学ぶことができました。季節やテーマごとの特別展も企画されるそうです。敷地内には茅葺き屋根の旧池上家住宅があり、子どもたちはいろいろに当たりながら話を聞きました。昔の遊びや昔の暮らしを体験できる土曜体験教室なども開いているそうです。

Learn history at the Historical Folklore Date Library

They went to the Historical Folklore Date Library next. In the permanent exhibition room, they were able to learn about the history of the people who lived in the Musashino Plateau from ancient to modern times, under the theme of "Developing." This library holds special exhibitions. The old Ikegami Family's House with its thatched roof stands on the premises, offering visitors a chance to experience this house on Saturdays.

町外からも訪れる人が多いんだね。



● 歴史民俗資料館の常設展示室
The permanent exhibition room of the Historical Folklore Date Library

郷土の歴史を学ぶことができるほか、昔の暮らしがわかる農具や民具、竹間沢車人形の資料も展示されています。

展示資料の説明を読んでいくと、おもしろいね。





子ども編集室



三芳町ってどんなまちだろう？
自分たちが暮らし、学び、遊ぶこのまちを
5人の子どもたちが取材します！
行ってきま〜す！

1 本の楽しさと出会える中央図書館



● 中央図書館 Central Library
藤久保公民館、保健センター、藤久保出張所と隣り合っています。目の前には藤久保小学校があります。

みんなが楽しめる図書館
まず子どもたちが向かったところは、中央図書館です。みんな利用したことがある施設でしたが、本を探しやすくするための工夫や、ぐりぐらタイム（読み聞かせ会）などのイベント開催など、いろいろな取り組みをしていることを知りました。図書館で使わなくなった本が、学校の学級文庫になったりしていることには、みんな驚いていました。平成18年度に県の優良教育施設として表彰されたほか、同規模の町立図書館の中では、全国第3位の利用実績を上げています。

The Central Library, where you can get amusement from books

The children went to the Central Library at first. They learned about how to search for books more easily, as well as the events and other activities that the library holds. They were surprised when they learned that books that became unnecessary were given to classroom libraries. The library was selected as an excellent educational facility of Saitama Prefecture in 2006. In addition, the library is the third largest in the number of users among town libraries of the same scale in Japan.



● 分類された本棚 Categorized shelves
本は分野ごとに並べられています。館内のコンピュータで見たい本を探すこともできます。



● 利用しやすい工夫
Means for using the library more conveniently
ところどころにテーブルやイスが置いてあったり、借りたい本を入れるカートがあります。



● コピスみよしエントランス
Entrance of Coppice Miyoshi

エントランスにはコピスみよしのロゴマークレリーフが掲げられています。「風」をイメージしてデザインされました。



照明の色は無限につくれるんだって。すごいな。

● 照明・音響室
Illumination/Sound chamber
マイクなどの音響を調整したり、照明を操作する部屋です。

4 笑顔と文化をはぐくむ コピスみよし



● ホール Hall
通常よりゆったりとした座席が採用されています。

芸術とふれあう場所

最後は、三芳町役場の横にあるコピスみよしを見学しました。ホールの総客席数は503席で、可動音響反射板などが設置されていて、質の高い音楽を楽しむことができます。車いす席や親子室などもあります。さまざまなコンサートや芝居などが開かれていたり、自分たちの活動を発表する場としても利用されているそうです。あちらこちらにオブジェが飾られていて、アートな雰囲気をつくり出しています。

Culture Hall Coppice Miyoshi, fostering smiles and culture
Finally, they visited Culture Hall Coppice Miyoshi, next to the Miyoshi Town Office. The hall has a seating capacity of 503 and is equipped with movable sound reflecting boards, etc., where you can enjoy high-quality music. Seats for wheelchair users and a room for families with young children are also available. This hall is used not only for holding concerts and plays but also for making presentations on activities carried out by the townspeople. It is covered with works of art, creating a wonderful aura.

「編集後記」取材に協力してくれた子どもたち

三芳小学校6年
芝本 亜莉咲
SIBAMOTO Arisa
女の子は私だけと思っていたけど、もうひとりいて友だちになりました。男の子たちも優しくかったです。4人の友だちができて、取材は楽しかったです。

上富小学校6年
高橋 美瞳 TAKAHASHI Mimi
取材はすごく楽しかったです。いろいろな学校の友だちと仲良くできました。ありがとうございました。

竹間沢小学校6年
佐久川 裕伍 SAKUGAWA Yugo
2年生の時に三芳町に引っ越してきました。もう4年たって、まちのことはほとんど知っているつもりだったけど…。取材でいろいろなところに行って、話もいろいろ聞いて、とてもわくわくした1日でした。

唐沢小学校6年
青木 祐輔
AOKI Yusuke
ふだんは見られないところを見ることができて、とても充実した1日でした。また、このような機会があればやってみたいと思いました。

藤久保小学校6年
藤田 郁弥 FUJITA Fumiya
中央図書館とかよく使っていた施設でも、知らないことがいっぱいあって驚きました。三芳町のいろいろなことが新たによくわかりました。

取材は平成19年11月に行いました。



3 元気と笑顔の拠点 総合体育館



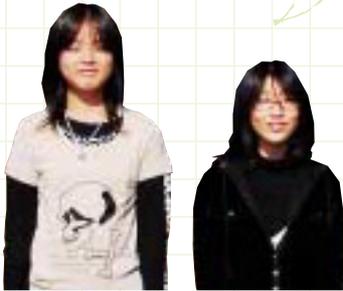
● 総合体育館 Municipal Gymnasium
ガラス張りのエントランスとフィットネス
ルームは明るくて開放的です。

楽しく健康づくり
次は平成18年10月にオープンした総合体育館を訪れました。バレーボールコートが3面とれるアリーナをはじめ、多目的室や武道場、最新のマシンが用意されたフィットネスルームなどがあります。ヨガやエアロビクス、ピラティス、など、さまざまなフィットネス・スタジオプログラムが用意されていて、人気を集めています。

The Municipal Gymnasium,
the base of liveliness and smiles

Then they visited the Municipal Gymnasium, which opened in October, 2006. It has an arena where three volleyball courts are available, an all purpose room, a martial arts gym and a fitness room equipped with latest exercise machines, etc. It also offers various studio fitness programs such as yoga, aerobics, pilates and boxercise, which are becoming popular.

学校の体育館よりきれいだな～。
1日に約220人も
利用しているんだって。
すごい！



● フィットネスルーム Fitness room
2時間300円で利用できます。初めて利用する時は、専門スタッフによる講習会に参加します。



● 休憩コーナー Rest corner
エントランスの一角に設けられています。明るくて眺めも良く、気持ちの良い空間になっています。

● スタジオプログラム
Studio exercise program
楽しみながらさわやかな汗を流せる、人気のプログラムがたくさん用意されています。



すごく広いね。
いろんなスポーツや
運動ができるんだ。

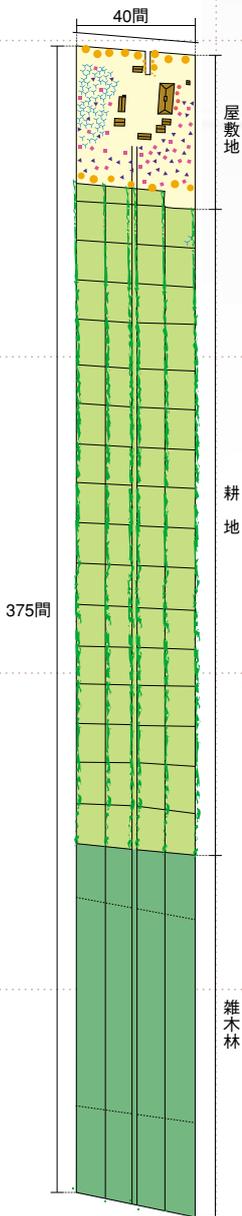


上富村地割絵図

◎ Picture of zoning Kamitome village
文久3年(1863)に写されたもので、
開発当時の上富村の地割が記されてい
ます。(多福寺蔵・町指定有形文化財)

何 もない大地に一からデザ
インされた三富新田は、

畑作農業に適した都市計画が
行われました。ケヤキ並木に
沿って並ぶ短冊型の敷地は、
循環型農業のお手本ともいえ
る工夫がありました。しかし
三富の開発は決して容易では
なく、開拓農民たちの血がに
じむような努力と知恵によっ
て成し遂げられたものでした。
開発当初に掘られた11の井
戸は、日照りの時には枯れて
しまい、農民たちは約4キロ
メートル離れた柳瀬川まで水
をくみに行きました。強い季
節風が乾いた畑の赤土を舞い
上げて、「赤い風」となって吹
き付けました。開拓農民は、
屋敷林や雑木林を育て、畑の
畦にはウツギや茶の木を植え
て、風を防ぎ、栄養分が少な
く水はけの悪い関東ローム層
の赤土に大量の肥料を施し、
世代を重ねて肥沃な大地へと
変えていったのです。



多福寺

◎ Tafukuji Temple

雑木林に囲まれた多福寺は、三富新田に入植した農民たちの
菩提寺として、元禄9年(1696)に川越藩主柳沢吉保の命に
よって創建されました。当時の川越藩や三富新田開発に関す
る資料や文化財が多く伝え残されています。

地割

◎ Zoning

雑木林

短冊型の敷地は、道路に面した表側が屋敷地、
その次に耕地、雑木林という構成になっていま
した。家のまわりを囲む屋敷林は竹やケヤキ、
ヒノキなどが植えられ、防風の役目を果たしま
した。耕地の境には茶の木が植えられ、防風の
役目だけでなく、商品ともなりました。雑木林
にはナラやクヌギ、エゴ、アカマツなどが植え
られ、防風林として、また燃料となるたぎぎや、
肥料となる落ち葉の供給源となっていました。
(県指定旧跡)

柳沢吉保の肖像

◎ Portrait of YANAGISAWA Yoshiyasu
5代將軍徳川綱吉に仕え、後に川越藩主
となり、三富新田の開発に着手しました。
(山梨県韮崎市常光寺蔵・写真は埼玉県立
歴史と民俗の博物館の複製)



Reclaimed rice-fields, Santome Shinden

Santome Shinden or the new rice fields, were reclaimed in July 1694, by order of YANAGISAWA Yoshiyasu, the feudal lord of the domain of Kawagoe at that time. They are comprised of Kamitome, Nakatome and Shimotome. Kamitome in particular, which is located in Miyoshi Town, still retains some traces of that time. It was extremely hard to reclaim new rice fields, but it was achieved by the labor and wisdom of the farmers. They planted not only trees around their houses but deutzias and tea trees on the paths between the rice fields to protect them from the wind, transforming the sterile soil into fertile ground over successive generations.



三富新田の地割
© Zoning of Santome Shinden

ふるさとの誇り **自慢**

開墾の歴史

三富新田の開発

武蔵野を切り開いた江戸時代の都市計画



現在の三富新田
© Present Santome Shinden

細 長い短冊型の地割が続き、美しい農村風景を形成している町内の上富地区は、江戸時代に行われた新田開発によって誕生しました。開拓前の武蔵野は、現在の「雑木林」のイメージとは異なり、その名の通り武蔵国に広がる広大な菅野原かやのほらでした。江戸時代に入ると武蔵野の開発が急速に進み、慶安年間に藤久保、寛文年間に北永井の開発が行われています。三富の開拓は元禄7年（1694）7月、当時の川越藩主、柳沢吉保の命により始められました。三富は上富のほか、中富（現所沢市）と下富（現所沢市）からなり、特に上富地区は、当時の面影を色濃く残していることで知られています。

循環型農業のお手本 サツマイモができるまで

Model of cyclical agriculture,
Process of growing sweet potatoes



1 ■落ち葉掃き／サツマイモにとって最適な肥料は、落ち葉からつくる堆肥だといわれています。上富地区では、今でも昔ながらの堆肥づくりを続けている農家が多くあります。



2 ■苗床づくり／落ち葉が発酵する際、30～50度に発熱します。その発酵熱を利用して、寒さに弱いサツマイモの苗を早く発芽させる工夫をしたのが、この苗床です。現在では、丈夫なウイルスフリー苗を利用するようになっています。



3 ■苗をさす／5月中旬頃、苗を植え付けます。



4 ■収穫を待つモ畑／収穫は10月中旬から11月上旬ごろで、改良品種のサツマイモよりも遅い晩生種です。



はたがたしつてんべつおほえちよう 畑方仕付反別覚帳

◎ Hatagata-shitsuke-tanbetsu-oboecho

(a record of crops from the Edo Period to the Meiji Period)

文政元年(1818)から明治11年(1878)までの61年間にわたってつくられた31品目の作物が記録されています。冬は小麦、夏はサツマイモの栽培が主流だったことがわかります。(三芳町上富 武田信夫家蔵・町指定有形文化財)



サツマイモの直売所

◎ Sweet potato Direct sale shop

10月中旬から11月下旬にかけて、上富地区のけやき並木沿いには、サツマイモ農家による直売所が軒を並べます。上富特産の紅赤をはじめ、紅東などが販売されています。

Sweet potato white paper, A sweet potato revolution that stabilized the lives of the peasants

Sweet potatoes produced in Santome have been established with the brand name "Tome-no-Kawagoe-imo." Sweet potatoes were introduced into Kanto District because of the Famine of Kyoho (1732) and spread as an emergency crop. The reddish soil was suitable for cultivating them and the need for a large amount of fallen leaves for fertilization and the production of their seedlings suited the conditions of Miyoshi. Accordingly, farmers around Miyoshi began to cultivate sweet potatoes.

火山灰が厚く降り積もった関東ローム層の赤土が、サツマイモの栽培に適した土壌であったため、三富新田ではこそってサツマイモの生産が行われ、その質の良さから江戸の人気商品となりました。

農民の生活を安定させたサツマイモ革命

みよし育ち

サツマイモ白書

富の川越いもとしてブランド化している三富のサツマイモ。関東地方にサツマイモが伝えられたのは、享保の飢饉（1732）がきっかけだといわれています。享保20年（1735）、青木昆陽が、救荒作物としてサツマイモが適していることに注目し、江戸小石川御菜園（現小石川植物園）で試作を行い、その種芋が上総、下総国（現千葉県）や武蔵国（現埼玉県）に伝えられました。この地域でのサツマイモ栽培は、寛延4年（1751）に南永井村（現所沢市）名主の吉田弥右衛門が、上総国志井津村より種芋を買い付け、栽培に成功したのが始まりです。赤土の土壌がサツマイモづくりに合っていた

ことと、肥料や苗づくりに多くの落ち葉が必要だったことが条件に合うことから、三芳周辺の農民たちはこそってサツマイモの生産に力を入れました。



へにあか 紅赤の葉

◎ Beniaka leaves, one of the varieties of sweet potatoes
数多くあるサツマイモの品種の中でも、紅赤は「サツマイモの女王」と呼ばれるほど品質は良いのですが、性質は気難しく、栽培には熟練した技術が必要だといわれています。三芳町の上富地区が栽培の中心地となっています。

富の川越いも

◎ Tome-no-Kawagoe-imo

上富地区で栽培されている紅赤は希少で、その味の良さから川越いもの中でも特に「富の川越いも」として人気を呼んでいます。紅赤の別名は金時。皮はあざやかな赤色で、実は美しい黄色です。ホクホクとした食感で、味と香りにすぐれています。

へにあか 芋焼酎「富の紅赤」

◎ "Tome-no-Beniaka,"

a spirit distilled from sweet potatoes

富の川越いも（紅赤）を100%使用した本格芋焼酎です。三芳町川越いも振興会の企画によりつくられています。さわやかな香りとほんのりとした甘味が格別。毎年、生産本数が限定されているため、幻の逸品として注目されています。



サツマカゴ

◎ Satsuma-kago, the baskets for sweet potatoes



りんりんネット情報誌



鈴木 英美町長
SUZUKI Hidemi

【町長】 本日はお忙しい中、ありがとうございます。平成19年の1月から町長に就任しました鈴木です。それまでは5期20年にわたって議員の立場で町政に携わってきました。町長に就任して10カ月になりますが、「町民とともにまちづくりを」という思いで取り組んでまいりました。さて、本日は、三芳町が特に力を入れている事業のひとつである「子育て支援」をテーマに、実際に子育てをされている住民の方と語り合える座談会を設けさせていただきました。子育てで真つ最中の当事者として、また、「子育てネットワーク「りんりんネット」のメンバーとしてがんばってくださっている皆さんならではの話を、いろいろと聞かせていただければと思っています。よろしくお願ひします。

【藤川】 こちらこそ、よろしくお願ひします。3歳の子どもがいます。りんりんネットには設立時から関わらせていただいています。

【斉藤】 上富在住で、4歳と1歳の子どもがいます。両方とも男の子でして…(笑)、子育て奮闘中です。よろしくお願ひします。

【浜嶋】 上富在住です。4歳の男の子がいます。りんりんネットでは情報誌を担当しています。

【大島】 私も上富在住で、子どもは3歳と1歳です。結婚した時から三芳町にずっと住んでいます。

【石山】 3歳と2カ月の娘がいます。この子を妊娠した時に、地元の藤久保に戻ってきました。夫も私も藤久保出身で、親が両方とも藤久保に住んでいます。サロンの担当です。

【斉藤】 今日、ここに来るまでは、どういふお話をしたらいいのかなと緊張していました。

【石山】 町長と直接お話をするなんて、しかも子ども連れで(笑)なんて、そうはないと思います。どうして今日のような座談会をしようと思われたのですか？

【町長】 話が大きくなりますが…。地球上に生を受けたものは、すべて子孫のために最大の努力をするというのが、大切な基本だと思うんです。それは鳥も動物も植物も、人間社会も同じでして、次世代の育成を怠れば、その種、あるいはその地域は衰退してしまいます。次の世代を考えるためには、今日を築いてきた先人たちの歴史、この町の歴史、これらをしっかり和繼承して、今を預かっていける我々自身を見極め、それから未来の夢を考えていかなければ。そういう視点で考えた時、子どもの声が聞こえないまちというのはさびしすぎます。全国的に少子化

【大島】 2〜3年前なのですが、町がやっている3回コースの子育て講座への参加がきっかけです。その時、せっかく集まったメンバーで、三芳町にはまだない、単なるサークルではない子育てネットワークをつくってみませんか、という呼びかけがあったんです。子育てをしながら何か役に立つことがあればと集まったメンバーで、わからないながらに手探りで始めたのが「りんりんネット」です。

【町長】 りんりんネットのネーミングには、どんな意味があるんですか？

【藤川】 Link Ringでつながるとい



大島 香さん
OSHIMA Kaori

が進む中、三芳町ではおかげ様で皆さんと同様に子どもがいる世帯が増えています。大変ありがたいと思いますし、これからのまちに夢が広がると思っています。だからこそ、子育て支援は、町にとって大切な事業だと思っているわけなんです。ですから、子育て当事者である皆さんとの座談会を楽しみにしていました。皆さんが取り組まれている「りんりんネット」について、教えてもらえますか？



りんりんネット活動風景

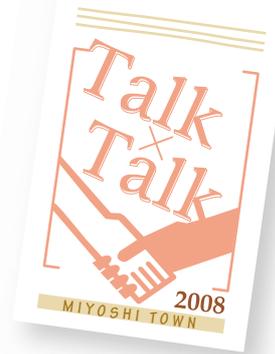
❖ みんなで考える 子育て座談会

Free forum on child-rearing

三芳町で子育て😊隊

Let's raise children in Miyoshi Town!

現役子育て中のババママ、はたまたプレママプレパパを結ぶ、子育て支援ネットワーク「りんりんネット」のメンバーが町長と一緒に考える「三芳町での子育て」談義。



子どもを育てる親にとって、

このまちがどんなまちであるかはとても大切な要素です。

子育て支援サークル「りんりんネット」のメンバーでもあり、

自らも子育て奮戦中のママたちが、

三芳町での子育てを語ります。





まちづくり懇話会

【町長】 皆さんが輪を広げていて、輪に加わりたいという人へ門を開いてくれるというのは大変うれしいことですね。話は変わりますが、皆さんにとって三芳町はどんなまちですか？

【大島】 やっぱ、緑が多いまちだと思います。家を買う時それが決め手でした。都心からも近く、通勤にも問題のない距離です。

【町長】 町のキャッチコピーは「都心に最も近い緑のオアシス」！

【二回】 (笑)。

【大島】 夏になるとみんなカブトムシを飼っていますよね。勝手に飛んでくるから。

【藤川】 うちは、カメムシばかり。【二回】 (笑)。

【石山】 どんぐりじゅうたんもできてるし。

【町長】 そういえば、今年はどんぐりの当たり年らしいですね。

【斉藤】 遊んでいても、ぼとぼと落ちてきます。

【藤川】 そういう自然に恵まれていますよね。



浜嶋 裕子さん
HAMAJIMA Yuko

【浜嶋】 小学校で芋掘りをするの

ですが、私が子どものころもしていたし、それが当たり前だと思っていました。でも、町外の友達に聞いたら「芋掘りしないよ〜」って(笑)。子どもたちが、土とふれあうっていいことだと思えます。



石山 みさおさん
ISHIYAMA Misao

【石山】 子どもたちを安心して遊ばせる公園がもう少しあるといいですね。子育てママにとって、徒歩10分圏内にあるのが理想です。

【町長】 子どもたちは美味しい空気を吸えるし、子育てするのにいい環境ですよ。藤久保小学校の東側に、みんながお弁当を広げて食べられるような2つ目の大きな公園をつくれたらと思っています。

【斉藤】 いいですね。公園に集まることで、顔見知りが増えていって、人とつながっていくんですね。りんりんネットや子育てサークルに入るのも手ですけど。

【浜嶋】 情報も集められますしね。

【町長】 それから、山林を所有されている方に無償で町に貸していただく代わりに、下草を刈ったり山林の管理をしますよ、という協定を結ぶとかと検討しています。

そういった取り組みが良いモデルになれば、町内にそういう箇所を増やしていきたいと思っています。子育て支援、子育て環境の整備をしようとすれば、それなりに行政負担があるのが現実ですが、子どもたちは地域の「夢」ですから、その夢への投資と考えて、惜しみなくやっていききたいですね。

【大島】 「三芳町には児童館が3つもあっていいよね」とよくいわれます。子どもの医療費のことでも、すこくうらやましがられます。本当にありがたいです。

【町長】 そういつてもらえると、うれしいですね。私が町長に就任する前、子ども医療費の無料化を掲げていたのですが、子育て支援策の第一歩として、就学前までの乳幼児医療費はもちろん継続、小学校へ入学された子どもさんも、卒業まで医療費を無料化にしました。児童館もそうですが、集会所も町内に20数カ所あるんですよ。子どもだけの施設というわけではないんですが、こんなに数多くあるところはほかにないんですよ。集会所は地域の方々がコミュニケーションをはぐくむ場所として、大切な役割を担っています。私も、1カ月かけて14の集会所をまわって、まちづくり懇話会を行いました。来年はちょっとセクションを変えて、できれば皆さんのような子育てをしている年齢層の方々にも関わっていただいて、懇話会の機会を設けたいですね。もちろん、



高齢大学



運動会

う意味です。

【大島】行政と子育て中のママ・パパだけではなく、子育てが一段落した方やこれからパパ・ママになるという方をネットワークでつないでいって、子育てしやすい環境をつくっていききたいというのが、大きなテーマです。今年には特に、一般公募のイベントと、産前・産後のママ・パパを対象としたサロン、メンバー内外に向けた子育て情報誌「バンビーノ」の作成という3本立てで活動しています。

【石山】メンバーは約20人で、月に2回くらい全体的に集まっているほか、イベント、サロン、情報誌の3グループに分かれて、必要に応じてそれぞれ企画などの話し合いを行っています。

【町長】「サロン」というのは？

【石山】出産前後のママ・パパを主な対象とした集まりで、お友だちづくりに役立ててもらったり、外出の機会をつくって気分転換をしてもらったり、先輩ママとおしゃべりをして情報交換をしてもらったり、といった取り組みを定期的に行っています。具体的には、マタニティビクスやベビーマッサージ、栄養相談、父親学級、アフタービクスなどをやっています。【町長】皆さんがつくっている子育て情報誌も、人気ですよ。【浜嶋】ありがとうございます。子育てガイドマップや幼稚園情報誌などもつくっているのですが、

保健センターでもとても人気があります。増刷するくらい好評だと聞きます。

【斉藤】調べたりするのは大変なのですが、自分のためにもなるし、出来上がったものが喜んでもらえるとうれしいですね。

【町長】この間運動会をやられたとか。大盛況だったそうですね。【大島】ありがとうございます。運動会は大きなイベントのひとつなんです。それも広報などでお知らせして、後はメンバーのお友達とか口コミで50組の親子の参加がありました。



藤川 昌子さん
FUJIKAWA Masako

【藤川】もっと多かったかもしれないですね。

【大島】総合体育館が11月にオープンするのを待って、去年も開催したのですが、今年はさらに内容も充実させました。りんりんネットだけでなく、いろいろな人が活動に興味を持って、受ける側じゃなくて、自分たちのために何ができるのかって、自分たちで考えてくれる人が増えていったら、すばらしいですね。

【石山】子育てで忙しいけれども、

子育て以外の何かもしてみたいという気持ちは、みんなあると思うんです。だけでもできない。そんな気持ちを生かせるシステムがあるといいのにな。



斉藤 知穂さん
SAITO Chiho

【斉藤】私も、上の子どもが幼稚園に行き始めて自由になる時間が少なくて、何かやりたいなと思って活動に興味を持つんです。

【石山】何かしたいのに「何を」「どこで」したらいいのかわからない、そんなお母さんがいっぱいいます。そのエネルギーを眠らせておくのはもったいないですよ。

【大島】今、りんりんネットで一番多い層が3〜4歳児を持つお母さん方なんです。2人目という方も増えてきましたが、下の年齢の子どもを持つ若いお母さん方にも入ってもらいたいですね。層が増えていくと、また違った視点で活動できると思っています。いろいろ悩みながら、それでも毎年毎年いい感じになっていますよ。生涯学習課の方々も本当によく協力してくださって感謝しています。

【石山】こんなに親切にしてもらっているのかしらというくらい。



芋掘り

子育てを応援します！

三芳町の子育て支援いろいろ

Various kinds of support for child-rearing in Miyoshi Town

毎日が発見と感動でいっぱいの子育て。だけど楽しいことばかりでないのも現実です。三芳町が行っているさまざまな子育て支援や交流を通して、子育ての悩みや喜びを共有しながら、このまちで楽しく子育てをしてもらえたらと願っています。

はじめて子育て講座「ほっとサークル」

赤 ちゃんを育てることは、毎日が驚きと感動の連続です。一方で、想像以上の忙しさにとまどうお母さんもいることでしょう。同じように赤ちゃんを育てているお母さんたちが集まって、育児について話し合ったり、子育てのヒントを学べる講座です。赤ちゃんと一緒に参加できます。

“Hotto Circle” seminar for child-rearing beginners

“Hotto Circle” is a seminar of three sessions, in which mothers who are rearing babies participate by talking and learning about caring for babies. They are allowed to bring their babies with them.



子育てサロン



親 子が楽しく交流できる場として子育て支援センターが実施しています。0歳、1歳、2歳それぞれの年齢に分かれて日が設けられていて、自由遊びや園庭遊びのほか、絵本の読み聞かせ、年齢に合った遊びや歌、子育てアドバイスなどを行っています。そのほかにも、0～5歳くらいの子どもと親が自由に参加して交流できる子育てサロン「わくわくタイム」も実施しています。

Salon for child-rearing

The salon for child-rearing provides the opportunity for joyful exchanges between parents together with their children. It is offered for babies under the age of 1, those aged 1 and those aged 2 by the Child-nurturing Support Center. In the Salon, babies can play and enjoy a book reading service, etc., while mothers can receive advice on child-care. In addition, another salon for child-rearing, “Wakuwaku Time,” is also held in which children aged 0-5 and their parents can participate freely to exchange information with each other.

児童館

町 内には、藤久保、北永井、竹間沢の3つの児童館があります。児童館では、児童たちに健全な遊びを提供し、子どもたちの健やかな成長と豊かな心づくりを応援しています。館内で自由に遊べるほか、季節ごとに楽しいイベントや体験教室が開催されています。

Children's house

There are three children's houses in Miyoshi Town in Fujikubo, Kitanagai and Chikumazawa. They provide opportunities for safe and sound play, while encouraging the sound growth and cheerful hearts of children. In the facilities, children can play freely. Moreover, pleasant seasonal events and practical lessons for learning are also held.



平成19年11月1日
総合体育館会議室にて収録



いろいろな世代の方の話の聞けたらと思っています。鈴木町長は子育てにはだいいぶ力を入れているけど、私たちのことは考えているんですかって、いわれちゃうといけませんから(笑)。

【二回】(笑)

【石山】 私たちも、同年代だけでなく、高齢者の方々のふれあい欲しいなって思います。核家族が多いので、子どもたちがおじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊んでもらったり、昔の遊びを教えてもらったり、そういう場があったらすごくいいと思うんです。

【藤川】 昨年、敬老の日に、自分のおじいちゃん、おばあちゃんに絵を描いてプレゼントするイベントを行ったのですが、今後はいろいろなお年寄りの方と交流できたらいいなと思います。

【石山】 いろいろな世代の方と知り合えたら、道ばたとかで「今、〇〇ちゃんがそこにいたわよ」とか、犯罪防止にもつながっていくと思いますし。

【町長】 お年寄りとのふれあいの場づくり、いいアイデアですね。地域の老人クラブもありますし、高齢大学もあります。そういったつながりから始めてみるのいいかもしれません。高齢大学は月に3回ほど活動しているのですが、各公民館ごとに年に2〜3回合同座談会があるんです。一緒になって何かやれる企画がないか考えてみませんか、今度提案してみます

ね。

【石山】 今日の座談会に参加させてもらえて良かったです。こんな機会を設けてくれること自体が、三芳町のいいところですよ。近所の公園で砂場の砂が少なくなってきたよねって話していたら、次の日には誰が連絡したのか、砂がもう補充されていたんですよ。すごい！対応早い！って感動しました。

【町長】 「10日後に入れても、明日入れても入れるのは同じ1回。だったらすぐにやるほうがいい」って職員に聞いています。

【石山】 ちゃんと具体的に一般市民の声を聞いてくれるというのは、すごくうれしいです。

【大島】 住民票を取る時とかも、対応がスピーディーですよ。待たなくていいというのは、ストレスがなくてすごくいいです。

【町長】 子どもさんが一緒だと、なおさらそう感じますよね。小さなことですが、そういう住民の方の「満足」を、大事にしていきたいですね。

【大島】 役場もきれいで過ごしやすい！これで役場に遊べる公園とかキッズスペースなんかができたら、通っちゃうかも(笑)。

【町長】 今ね、エレベータ前のスペースに、まちの情報や写真を展示するコーナーをつくらうかと考えているんです。例えば、春、竹間沢のコブシの花は、今は3分咲きで、あと1週間後が見頃で

す」とか。また、町内のいろいろな所に菜の花の種をまきましたので、来年の春はあちこちで黄色い絨毯が見られると思います。そういった情報を発信する場所のひとつにしたいですね。

【浜嶋】 ふつうは町長と会えることすらできないでしょうし、まして話ができるなんて。町長の人柄もわかって本当に良かったです。それに、子育て支援で、子育てをしているお母さんたちを呼んで話をしようと思われたことが、すごいと思います。

【町長】 確かに今までは町長のスピーチを聞くことはあっても、話す機会というのはあまりなかったと思います。でも私は、直接話を聞くということが大事だと思っているんです。町にも予算がありまして、皆さんの要望をすべて聞き入れるというわけではないですよ(笑)。先ほど話したまちづくり懇話会には、14会場で約650人が集まってくださりまして、いろいろな意見をいただきましたよ。

【斉藤】 集会所でまちづくり懇話会をするというのは回覧板で知っていたのですが、子どももいますし、参加するのに抵抗があったんです。今日、たまたまこういう機会に恵まれて、お話を聞いていただけに本当に良かったです。ありがとうございます。将来的に自分が年をとった時に、このまちにいたいと思えたらいいなってすごく思います。

【大島】 これからも三芳町に住む予定なので、住みやすいまちであってほしいと思います。でもそれは、町にやってみようというだけではなくて、私たちもできることをやって、それでいいまちになっていけたらと思います。

【斉藤】 今日はどんな話をしようか緊張していたのですが、町長とお話できて楽しかったです。

【町長】 こちらこそ今日は元気をもらいました。三芳町はただか15平方キロメートルの枠におさまった小さなまちです。でも、さまざまな可能性のある、夢を持ったまちです。皆さんには子どもたちをしっかりと育ててもらって、子どもたちが成人して、家庭を持つころに、「子育てするなら、やっぱり三芳町でないと」って思ってもらえる、そんなまちを皆さんと一緒につくっていききたいですね。今日は本当にありがとうございました。

【二回】 ありがとうございます。



多福寺

◎ Tafukuji Temple

入植した農家の人たちの菩提寺として元禄9年（1696）に建立されました。寺域周辺には雑木林が広がっています。



多福寺山門の十六羅漢
◎ Jurokurakan
at the main gate
of Tafukuji Temple



深鉢型土器

◎ Deep-pot earthenware

これは藤久保埜遺跡出土の縄文時代中期の土器で、食物の煮炊きや保存に使用されていました。



竹間沢里神楽

◎ Chikumazawa-Sato-Kagura

元締めを中心に数人から十数人で集団をつくり、祭りの季節になると招かれて各地の神社の祭りで神楽を奉納しました。竹間沢の前田家はそんな元締めのひとりで、その伝統は少なくとも百数十年をさかのぼることができます。（埼玉県有形民俗文化財。町指定無形民俗文化財）



県内最古級の石器

◎ One of the oldest stone tools
in Saitama Prefecture

藤久保東第二遺跡から出土しました。約3万年前のものと考えられ、県内最古であるばかりでなく、日本列島においても最古級の遺跡です。



竹間神社

◎ Chikuma-jinja shrine

竹間沢に古くからある神社です。4月26日に春祈禱、7月20・21日に近い土日に天王様、10月8・9日には秋の収穫に感謝するお日待ちが行われています。



旧島田家住宅

◎ Old Shimada Family's house

三富地区最古の古民家住宅です。寺子屋として経営されていたこともあり、三芳における近代教育発祥の地として意義深いところです。（三芳町有形文化財）



History

歴史を

ふるさとの「魅力」探訪



木ノ宮地藏堂奥之院地藏菩薩坐像

© Kinomiya-Jizo-do Okunoin Jizo-Bosatsu-zazo (Buddhist statue of a sitting children's guardian deity)
寛永19年(1642)の紀年銘があります。4月と8月の23・24日には地藏縁日が行われ、露店や参拝客でにぎわいます。(町指定有形文化財)

学び未来へつなぐ

時代を超えて、三芳町に受け継がれてきた文化財の数々。次代に守り継いでいきたい、郷土の財産です。

郷土の歴史に学ぶ

三 芳町に初めて人がやってきたのは、約3万年前だと考えられています。藤久保東遺跡や藤久保東第二遺跡から県内最古級の石器が発見されています。縄文時代には、竹間沢や藤久保に集落が営まれました。弥生時代には柳瀬川流域に大規模な集落が営まれていきましたが、わき水が豊富な竹間沢地域を除き、三芳町の大半は原野のままでした。江戸時代になって藤久保村、北永井村、上富村が開拓され、現在のまちの姿となりました。

Learning history leading to the future

It is said that people began to inhabit the area that became Miyoshi Town roughly 30,000 years ago. One of the oldest stone tools in Saitama Prefecture was discovered in remains in the town. During the Jomon Period (13000 BC to 300 BC), villages were formed in Chikumazawa and Fujikubo. In the Yayoi Period (300 BC to 300 AD), large-scale villages were formed in the Yanase-gawa river basin. During the Edo period (1603-1867), Fujikubo, Kitanagai and Kamitome were reclaimed to become the areas they are now.



新開遺跡出土のかめの一部 (福麻呂銘破片)

© Shards of an earthenware pot engraved with "Fukumaro," uncovered at the Shinkai remains

福麻呂という人物名がかめに刻まれています。新開遺跡では平安時代の須恵器を焼いた窯が発見されましたが、福麻呂とはどんな人物だったのでしょうか。

木ノ宮地藏堂

© Kinomiya-Jizo-do

創建は中世にさかのぼると考えられています。三富開発の拠点となった「地藏林」は、ここにあたります。現在の建物は農民の出資による安永6年(1777)の再建で、内部には107枚の天井画(再建時に作成)が描かれ、室内には52枚の絵馬が奉納されています。(町指定有形文化財)





郷土の歴史を 子どもたちに伝えていきたい

We want to share the history of our hometown

旧島田家住宅を中心に、月1回の勉強会と、小学生に三富地域に関する歴史や文化を説明しています。小学生と一緒に新しい発見をすることが、とても新鮮で楽しいです。また、三芳町に伝わる伝統的な農法を伝えるため、山掃き、苗床、植え付けなど、市民参加者と一緒にサツマづくりをしています。また去年は自主研究として紅花を栽培しました。これからも自分たちの楽しみとして、このボランティアを続けていきたいです。

さんどめ
三富塾活動ボランティア
Santome special lecture volunteer



郷土の伝統を伝えたい

**We want to pass
on the traditions of our hometown**

上富まつりで曳いている山車は平成9年に300年を記念してつくったもので、曳くのは今年で2回目です。これからも郷土のお祭りを子どもたちに伝えていきたいです。また、この緑豊かな三芳の山林も残していきたいですね。

上富まつり実行委員会
Kamitome Festival Executive Committee

声を通してつながる人の和

Linking people through our voices

町の広報や社協だよりなどのテープづくりを中心に、朗読の活動をしています。視覚障害者の方のお役に立っているということだけでなく、自分たちの声を聞いていただいていることに、とてもやりがいを感じています。美しい日本語を話すために講習を受けたり、最近では、中学校で講習に呼ばれたりすることもあり、さらに声の和を広げていければいいなと思っています。



三芳町朗読ボランティアの会 「けやき」
Miyoshi Town recitation volunteer group "Keyaki"



太鼓でまちおこし

Town policy by Japanese drums

昭和35年に活動を始めました。現在、さまざまなイベントに参加したり、福祉施設などで演奏しています。子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層で楽しめることが魅力だと思います。地域の皆さんに喜んでいただける“きたみ太鼓”をめざしていきたいですね。

きたみ太鼓
Japanese drum group "Kitami Daiko"

防犯パトロール隊

Anticrime patrol

子どもたちの安全のために

For protecting children...

毎週水曜に、各地区の小学校から児童を自宅まで送り届けています。1チーム6人で下校するのですが、無事に送り届けるまで気が抜けません。子どもたちと顔見知りになり、町なかで声をかけてきてくれる子もいるんですよ。うれしいですね。子どもたちの笑顔が生きがいになっています。





竹間沢車人形 家元 前田 益夫さん
MAEDA Masuo,
the leader of the Chikumazawa-kuruma-ningyo
puppet theatre

Statement of policy for the town,
Brief interview with residents
三芳町を盛り上げる、元気いっぱいに住民たち。
ふるさとを誇りに思い、もっと魅力的なまちにしよう
と
いろいろな分野でさまざまな人が活躍しています。



住民一言
インタビュー

より良いものをお見せしたい

I want to show better plays

ひとりでも多くの人に車人形の魅力を知っていただくため、学校での車人形体験や、みよしまつりでの公演、コビスみよしでは年に1回の公演を続けています。昭和47年に復活公演をした時の仲間は3名でしたが、今では使い手が8名、裏方が7名になりました。公演前は集中稽古で大変ですが、ひとりでも多くの方に感動していただきたい。そのために試行錯誤しながら、伝統を礎に新しい魅力もつくっていききたいと思います。



会食ボランティア ひまわり
Mess volunteer "Himawari"

感謝の言葉が一番うれしい

Words of gratitude make us the happiest

月に1度、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、会食会を開いて、今年で20年目です。食事の後には、その月のお誕生日の方に手づくりのプレゼントやカードを贈り、季節の行事を織り込んだ交流会もしています。「本当に楽しかったわ」という参加者の言葉が何よりうれしいです。ぜひ若い方にもメンバーになっていただき、続けていききたいと思います。

こだわりの野菜を届けます

We provide vegetables produced with special care

メンバーは30名、みんなで新しい肥料をつくったり、日々研究を重ねています。トレーサビリティに対応して、商品の袋にQRコードを付けたりしています。野菜をつくる上で「緑」の調整はとても大事。こだわりの野菜をつくるためにも、緑豊かな三芳町の自然環境を守りたいですね。



農事法人組合

三芳すこやか部会

Miyoshi Sukoyaka Group of the Agricultural
Corporate Association

三芳町消防団女性消防隊

The women's fire brigade of Miyoshi Town Fire Company



女性の視点で地域防災に一役

We take a role in local disaster prevention from a woman's viewpoint

消防団は男性というイメージが強いと思うのですが、「女性だからこそできることを」を念頭に取り組んでいます。高齢者訪問では女性であるため相手も安心して話を聞いてくれるなど、防災意識の向上に一役買っています。これからも女性ならではの視点を生かしてがんばっていききたいと思います。

Partnership



子どもたちに地域の環境を学んでもらう竹の子エコクラブ
The Takenoko Eco-Club,
where children can learn about the local environment

みんなの想いが明日をつくる

—パートナーシップのまちづくり—

- 1 協働・交流・コミュニティ
- 2 IT・情報管理・広報広聴
- 3 行財政運営
- 4 地域イメージ・国際親善

Town policy for the establishment of partnerships

Miyoshi Town is pressing ahead with a town policy for strengthening partnerships by delivering information on administration aggressively, aiming at the promotion of resident-self governance and the achievement of a convivial society where value is placed on individuality. Furthermore, the town is making an effort to improve the efficiency of administration through administrative and financial reforms. In addition, the town is promoting the establishment of the town's image, making use of local resources such as history, culture and nature, as well as international friendship.

地 域の自立と住民自治の重要性が改めて注目されています。三芳町では、行政情報の発信を積極的に行いながら、住民や民間の「知恵と力」を生かした協働のまちづくりを進めています。また、住民自治を促進するとともに、個性を認め合う共生社会の実現をめざしています。一方で、行財政改革を行い、運営の効率化とサービスの向上に努めています。さらに、歴史や文化、自然などの地域資源を生かし、住民が誇りを持つ地域イメージの形成と、国際交流を進めています。

みんながつくるまち



みよしまつり Miyoshi Festival



協働のまちづくり住民ネットワーク準備会
Preparatory talks on a residents' network
for a town with partnerships



まちづくり懇話会
A social meeting to discuss town development

◆三芳町第4次総合振興計画◆

みんながつくる

みどりのいきいき

ぬくもりのまち

「町民意識調査」や「地域懇談会」、
住民と職員協働による
「まちづくり住民ワークショップ」など、
みんなの声でつくり上げたまちづくり計画です。

自立と活性化のために

三 芳町では、平成18年より今
後のまちづくりの指針であ
る「三芳町第4次総合振興計画」
がスタートし、住民が主役の安
心・元気なまちづくりをめざし
て施策を展開しています。

この計画は、「基本構想」「基
本計画」および「実施計画」に
より構成されています。3つの
基本理念とともに、「みんながつ
くる みどり いきいき ぬく
もり のまち」を町の将来像と
して定め、その実現に向けて5
つの施策の基本方針を掲げてい
ます。この計画に基づきながら
住民とともに「協働のまちづく
り」を進めています。

自立と活力

基本理念

安心とぬくもり

環境と共生

A town rich in nature and kind people

Miyoshi Town started the fourth comprehensive town promotion project in 2006, pressing ahead with measures toward the establishment of a resident-centric town. The project is comprised of the "Basic concept," the "Master plan" and the "Execution plan." In addition, five basic policies have been adopted together with the three plans, proposing "a town rich in nature and kind people" as our future vision. Accordingly, Miyoshi Town is pushing ahead with the establishment of an excellent town based on partnerships, as well as these plans and policies.

パートナーシップのまちづくり

健康とぬくもりのまちづくり

豊かな生涯学習をはぐくむまちづくり

基本方針

みどり豊かで安心のまちづくり

環境と調和した活気にあふれるまちづくり

Education & Culture



食育の場でもある学校給食
School lunches that are also an opportunity for dietary education

心豊かに、みんないきいき -豊かな生涯学習をはぐくむまちづくり-

- | | |
|--------------|--------|
| 1 社会教育 | 2 学校教育 |
| 3 歴史と文化・スポーツ | |

Town policy for supporting fruitful lifelong study
Miyoshi Town is promoting the town policy for allowing all residents to study throughout their lives and for fostering the diversity of human beings. It is making efforts for the development of an environment suitable for the voluntary activities of residents, supporting networks for exchanges and the development of sites for activities. It also provides information and opportunities for participation and education. As for school education, the town is focusing on basic studies as well as promoting creative educational activities.

住 民一人ひとりが生涯にわたって学び、豊かな人間性をはぐくむことができるまちづくりを進めています。住民が主体的に活動しやすい環境づくりや交流ネットワークの支援を推進しているほか、創造や感動の喜びを味わえる活動拠点の整備、参加・学習の機会、情報提供の充実を図っています。学校教育においては、基礎的・基本的学習に重点をおくとともに、「生きる力」を身に付けられるよう、地域や学校の特性、児童生徒の実情等に配慮した創意ある教育活動を推進しています。

可能性をはぐくむ



親子ふれあい教室
Sessions for fostering close relationships between parents and children



にほんごきょうしつ
Japanese language lessons



中学生の海外派遣
Junior high school students travelling overseas

Health Care & Welfare



子育て支援の一環で開放される子育てフリースクエア・赤ちゃん広場
Free square for babies open as part of support for child-rearing

みんなの笑顔がまぶしいまち

—健康とぬくもりのまちづくり—

- | | |
|---------------|------|
| 1 健康 | 2 福祉 |
| 3 子育て支援と青少年育成 | |
| 4 住民窓口 | |

Making a healthy and kind town

Miyoshi Town is focusing on the establishment of a town with excellent health care and welfare, pushing ahead with meticulous measures for health improvement, the development of a medical network and care measures considering the rapid aging of the population resulting from the declining birthrate. The town is making an effort to enhance the support system for creating a barrier-free community with the cooperation of residents.

元気な笑顔のために
健康は、自立した活力のあるまちづくりへのキーワードです。すべての住民が健康であれあい、豊かに暮らしていけるよう、健康、福祉のまちづくりに取り組んでいます。
健康管理意識の高揚とともに、きめ細かな健康増進施策や医療ネットワークの充実を図るほか、急速な少子高齢化に配慮したぬくもり施策を重点的に推進しています。人にやさしいバリアフリーな地域の創造をめざし、住民の協力のもと、サポート体制の強化に努めています。



高齢者のスポーツ Sports for the elderly



福祉喫茶ハーモニー
Welfare cafeteria Harmony



福祉まつり Welfare Festival

Infrastructure & Industry



住民協働で取り組むゴミゼロ運動
"Zero garbage" activities carried out in cooperation with residents

人と環境のバランスを考える —環境と調和した活気にあふれるまちづくり—

1 環境衛生 2 産業経済

Town policy for promoting liveliness in harmony with the environment

Miyoshi Town is promoting the development of a resource recycling system in cooperation with residents and industry. The town is also making a commitment to issues on succession planning in agriculture and private shops, modernization of business management and support for small and medium sized enterprises, aiming at a town where local industries that affect the local economy are vigorous, allowing people to have enjoyable working lives.

活力あるまちに

環境問題は地球規模で深刻化し、人や環境にやさしい社会へと意識が高まっています。

クリーンな生活環境をめざし、住民や企業の協力のもとに、資源を大切にした循環型のシステムづくりを、まちぐるみで推進しています。

また、農業や個人商店の後継者問題、経営の近代化、中小企業の支援に取り組み、地域経済を支える地域産業が活性化して、いきいきと働くことのできるまちをめざしています。



ごみの資源化 Waste recycling



町内企業 Industrial firm in the town



ハウレンソウ農家 Spinach farm

Living Environment



快適な住環境を創出する都市整備
Urban development creating a comfortable living environment

暮らしやすいまちであるために —みどり豊かで安心のまちづくり—

- 1 都市整備と自然環境
- 2 道路 3 水道・下水道
- 4 防犯・防災・交通

A town policy aiming for a secure environment rich in nature
Miyoshi Town is making a commitment to the development of an urban infrastructure focusing on the lives of residents, pushing ahead with the development of an urban landscape making use of the nature that is an asset of the residents. It is also moving ahead with the maintenance, improvement and construction of roads based on universal design. The town takes responsibility for supplying safe and secure tap water while promoting the development of a sewage system. In addition, the town is making efforts to improve and enhance measures for the prevention of crimes and disasters.

安心と快適を守る
力あるまちづくりをめざすには、暮らしを重視した都市基盤の整備が不可欠です。住民の財産である「みどり」を活用し、うるおいのある都市景観の形成を図っています。また、幹線道路や生活道路の整備をはじめ、ユニバーサルデザインを取り入れた快適な道づくりを進めています。水道の安全・安定供給に努めるほか、下水道施設の整備を促進しています。また、安心して暮らせるまちであるために、防犯・防災対策の充実・強化に努めています。



けやき並木 Roadside keyaki trees



中央消防署三芳分署
Miyoshi Fire Department Miyoshi Substation



ふれあいの森
A forest for communication with nature and living things

統計資料編

Miyoshi Data Bank 2008

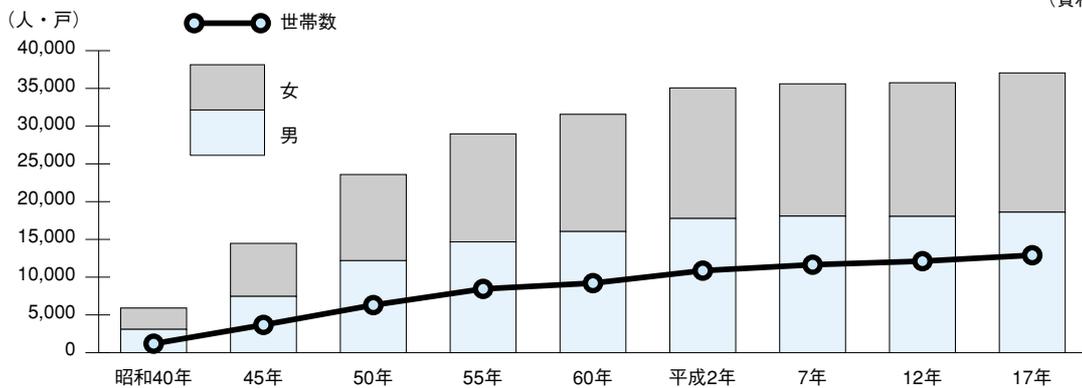
人口

◆ 国勢調査人口の推移

(各年10月1日現在)

年次	世帯数 (戸)	人口 (人)			人口密度 (人/km ²)	増加率 (%)
		総数	男	女		
平成17年	12,904	37,050	18,607	18,443	2,421.6	3.6
12年	12,118	35,752	18,045	17,707	2,336.7	0.4
7年	11,648	35,607	18,082	17,525	2,327.3	1.5
2年	10,862	35,067	17,768	17,299	2,292.0	11.1
昭和60年	9,209	31,567	16,042	15,525	2,028.7	8.9
55年	8,445	28,978	14,672	14,306	1,862.3	22.8
50年	6,300	23,595	12,183	11,412	1,516.4	63.0
45年	3,676	14,475	7,450	7,025	930.3	144.9
40年	1,185	5,911	3,086	2,825	379.9	36.5

(資料：国勢調査)



事業所

◆ 産業別事業所数および従業者数 (公務を除く)

(各年7月1日現在)

産業別	事業所数				従業者数 (人)			
	平成16年	平成13年	平成11年	平成8年	平成16年	平成13年	平成11年	平成8年
総数	1,339	1,530	1,510	1,504	22,369	24,821	22,532	24,146
農林水産業	2	1	2	—	30	22	27	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	168	189	197	208	1,136	1,301	1,310	1,508
製造業	404	451	451	453	10,151	11,021	10,043	10,076
卸・小売業	252	392	405	403	2,511	3,778	3,951	3,842
金融・保険業	5	8	7	7	24	36	36	48
不動産業	42	49	39	40	126	124	113	99
運輸・通信業	105	120	128	125	3,610	4,062	3,442	5,109
電気・ガス・水道・熱供給業	1	3	1	1	105	148	101	140
サービス業	360	317	280	267	4,676	4,329	3,509	3,324

(資料：事業所統計調査)



議 会

A s s e m b l y

住民の声をまちづくりに届け、協働のまちづくりをめざす



左から教育長、町長、副町長
From left to right,
the superintendent of schools, the mayor and the deputy mayor

知ることができます。

内容は傍聴できるほか、「ぎかいだより」やホームページなどで

年4回の定例会をはじめ、必要に応じて開かれる臨時会で、まちづくりにかかわる条例や予算などを審議しています。議会の

三 芳町の明日をつくっていく主人公は、このまちに暮らす住民一人ひとりです。そんな住民の声を行政に届けるのが、町議会の役割です。三芳町議会は、選挙によって選ばれた16名の町議会議員で構成されており、住民の代表としてまちづくりの方向性を審議しています。

まちの未来を考える

Miyoshi Town Council is comprised of 16 elected members who discuss the direction of the town as representatives of the residents. At the regular assembly sessions, which are held four times a year and the extraordinary sessions, municipal ordinances and budgets, etc., related to the town policies are deliberated. The Council sessions are open to the public. In addition, people can learn about them through the "Gikai-dayori" newsletters and website, etc.



◆ 学校別児童生徒数

(各年5月1日現在、単位：人)

年度	三芳小	藤久保小	上富小	唐沢小	竹間沢小	三芳中	三芳東中	藤久保中
平成19年度	588	630	169	473	292	268	335	349
18年度	497	681	162	463	302	288	332	349
17年度	468	698	163	454	304	269	351	325
16年度	413	716	155	431	299	268	368	334
15年度	399	767	157	442	259	290	363	286
14年度	367	770	157	458	262	297	379	271
13年度	370	729	163	454	266	290	399	270
12年度	360	708	172	486	281	317	409	274
11年度	355	690	176	497	315	331	454	301
10年度	369	673	176	523	332	364	458	302
9年度	411	665	184	500	342	377	475	300
8年度	444	664	188	537	397	387	452	296

(資料：教育委員会)

◆ 保育所別児童数および職員数の推移

(各年3月1日現在、単位：人)

年度	児 童 数									職 員 数		
	第 一 保 育 所			第 二 保 育 所			第 三 保 育 所			第 一 保 育 所	第 二 保 育 所	第 三 保 育 所
	計	男	女	計	男	女	計	男	女			
平成18年度	129	65	64	107	53	54	125	60	65	16	12	13
17年度	130	69	61	104	48	56	125	63	62	15	12	13
16年度	128	67	61	99	52	47	118	55	63	17	13	13
15年度	127	74	53	98	52	46	110	47	63	20	13	12
14年度	129	78	51	99	50	49	98	45	53	20	13	12
13年度	130	70	60	93	54	39	88	47	41	20	13	13
12年度	130	75	55	89	51	38	89	50	39	19	14	13
11年度	127	66	61	92	47	45	92	54	38	19	15	14
10年度	125	60	65	87	41	46	88	54	34	20	14	14
9年度	117	50	67	88	46	42	87	39	48	18	15	15
8年度	108	52	56	87	47	40	85	44	41	18	15	15

(資料：こども家庭課)

上下水道

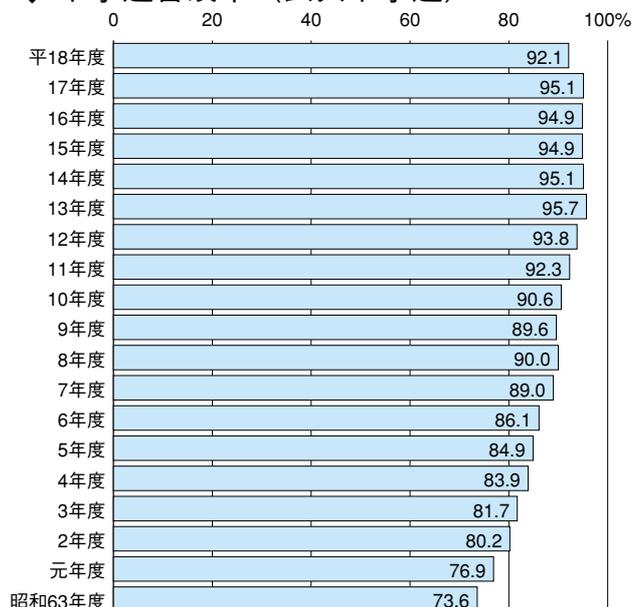
◆ 上水道使用量

(各年3月31日現在)

年度	給水戸数	給水人口(人)	給水普及率(%)
平成18年度	14,588	37,155	99.8
17年度	14,299	36,868	99.8
16年度	13,956	36,016	98.5
15年度	13,801	35,771	98.6
14年度	13,370	35,421	98.4
13年度	13,169	34,840	98.2
12年度	13,034	34,906	98.0
11年度	12,978	34,957	98.0
10年度	12,904	35,110	98.0
9年度	12,933	35,040	98.0
8年度	12,627	35,086	98.2
7年度	12,215	34,789	99.0
6年度	12,124	34,889	98.2
5年度	12,104	35,038	98.3
4年度	11,903	35,079	98.2
3年度	11,634	34,645	98.5

(資料：水道課)

◆ 下水道普及率(公共下水道)



(資料：道路下水道課)

注：平成元年より特定環境保全公共下水道事業を含む。

工業

◆ 工場の推移

(各年12月31日現在、金額単位：万円)

年次	工場数	従業者数(人)	製造品出荷額等
平成18年	212	8,315	20,200,303
17年	232	8,101	19,828,814
16年	221	8,200	19,949,894
15年	231	8,152	19,035,718
14年	214	7,997	18,891,099
13年	239	8,474	20,318,826
12年	263	8,614	20,946,576
11年	247	8,639	21,914,789
10年	268	7,588	17,261,091
9年	256	7,699	18,697,649
8年	277	8,920	22,657,695
7年	271	8,208	19,611,182
6年	263	8,393	19,480,885
5年	292	8,515	21,477,903
4年	294	9,143	24,246,350
3年	315	9,652	27,982,428
2年	320	9,366	24,559,365
元年	304	9,264	21,976,899
昭和63年	283	8,648	19,322,498
62年	255	8,182	16,226,932
61年	257	7,756	15,852,448
60年	246	7,502	15,546,226
59年	229	7,137	16,408,483
58年	230	7,034	14,587,186
57年	211	6,879	13,706,303

(資料：工業統計調査)

注：昭和57・59・61・62・平成元・2・3・4・5・6・7・8・9・11・12年については、従業者4人以上の事業所について集計したものである。

農業

◆ 農家数

(各年2月1日現在、単位：戸)

年	総農家数	専業農家	第一種兼業農家	第二種兼業農家
平成17年	275	107	57	111
12年	302	124	85	93
7年	363	123	114	126
2年	382	85	133	164
昭和60年	433	182	153	98
55年	454	177	176	101
50年	511	210	156	145
45年	538	249	160	129

(資料：農林業センサス)

専業農家：その農家の世帯員は農家以外の仕事に全く従事していない農家
兼業農家：その農家の世帯員のうち誰かが一人でも農業以外の仕事に従事している農家

第一種兼業農家：農業と農業以外の仕事を比較して農業を主とする農家
第二種兼業農家：農業と農業以外の仕事を比較して兼業を主とする農家

◆ 経営耕地面積

(各年2月1日現在、単位：ha)

年次	合計	田	畑	果樹園	茶畑	桑畑	その他果樹園
平成17年	401	1	386	計14			
12年	458	2	438	5	10	—	3
7年	479	2	459	7	9	—	2
2年	496	—	475	7	11	—	3
昭和60年	538	11	497	8	15	—	7
55年	571	1	530	15	16	—	9
50年	612	1	561	18	25	—	7

(資料：農林業センサス)

教育

◆ 私立幼稚園の推移

(各年5月1日現在)

年度	幼稚園数	学級数	園児数(人)	1学級当り園児数(人)
平成19年度	3	27	680	25
18年度	3	28	730	26
17年度	3	25	676	27
16年度	4	31	830	27
15年度	4	30	799	27
14年度	4	31	851	27
13年度	4	31	837	27
12年度	4	30	801	27
11年度	4	29	765	26
10年度	4	28	722	26
9年度	4	28	729	26
8年度	4	27	741	27
7年度	4	29	767	26
6年度	4	30	790	26

(資料：教育委員会)

選挙・議会・行政

◆ 有権者数の推移

(各年9月2日現在、単位：人)

年次	男	女	総数
平成19年	15,010	14,787	29,797
18年	15,001	14,653	29,654
17年	14,955	14,567	29,522
16年	14,821	14,393	29,214
15年	14,690	14,217	28,907
14年	14,415	13,947	28,362
13年	14,460	13,954	28,414
12年	14,373	13,937	28,310
11年	14,338	13,977	28,315
10年	14,220	13,844	28,064
9年	14,109	13,747	27,856
8年	13,968	13,599	27,567
7年	13,818	13,482	27,300
6年	13,592	13,361	26,953
5年	13,512	13,209	26,721
4年	13,127	12,879	26,006
3年	12,658	12,456	25,114
2年	12,311	12,071	24,382
元年	12,052	11,864	23,916

(資料：選挙管理委員会)

◆ 名誉町民

氏名	推挙年月日
江原 四郎	昭和55年11月3日
金谷 英男	昭和55年11月3日
林 榮則	昭和55年11月3日
安田 重信	昭和60年11月3日

(資料：総務課)

◆ 歴代町・村長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	池上 仁三郎	明治22. 4.18	明治23. 1.10
2	江原 仲右衛門	23.11.15	27.11.14
3	江原 平作	27.12. 1	28.11.25
4	江原 仲右衛門	28.12. 5	30. 4. 5
5	武田 圓次郎	30. 4.28	34. 4.27
6	武田 圓次郎	34. 5. 6	36.11.30
7	松本 長次	36.12.13	40.12. 8
8	武田 藍太郎	40.12.17	41. 9.25
9	細谷 源太郎	41.10. 8	44. 3.10
10	武田 藍太郎	44. 3.30	大正 4. 3.29
11	武田 藍太郎	大正 4. 4.14	8. 4.11
12	武田 藍太郎	8. 4.26	8. 8.18
13	武田 藍太郎	8.10. 7	10. 6. 7
14	森田 清三郎	10.12.27	14. 3.26
15	池上 善兵衛	14. 4.18	昭和 4. 4.17
16	池上 善兵衛	昭和 4. 5. 7	8. 5. 6
17	松本 昌信	8. 5.14	12. 5.13
18	松本 昌信	12. 5.17	16. 5.16
19	武田 定太郎	16. 6.23	20. 6.22
20	武田 定太郎	20. 6.23	20. 8.29
21	武田 睦太郎	20. 9.21	22. 2. 5
22	矢島 太助	22. 4. 5	26. 4. 4
23	武田 睦太郎	26. 4. 5	29.12. 9
24	矢島 太助	30. 1.14	34. 1.13
25	江原 貞一	34. 1.14	38. 1.13
26	金谷 英男	38. 1.14	42. 1.13
初代町長	金谷 英男	42. 1.14	46. 1.13
2	林 榮則	46. 1.14	50. 1.13
3	林 榮則	50. 1.14	54. 1.13
4	山田 義夫	54. 1.14	58. 1.13
5	山田 義夫	58. 1.14	62. 1.13
6	山田 義夫	62. 1.14	平成 3. 1.13
7	林 孝次	平成 3. 1.14	7. 1.13
8	林 孝次	7. 1.14	11. 1.13
9	林 孝次	11. 1.14	15. 1.13
10	林 孝次	15. 1.14	19. 1.13
11	鈴木 英美	19. 1.14	

(資料：総務課)

消 防

◆ 原因別火災発生件数

(各年12月末現在、単位：件)

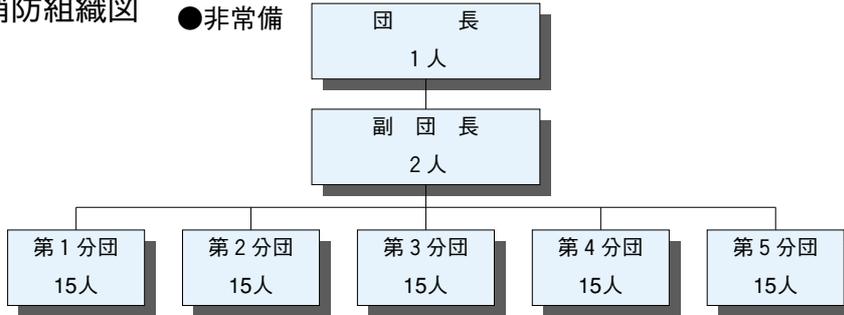
原因別	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
総 数	6	17	16	15	11	18	16	20	12	11
焚 火	—	—	—	1	—	—	1	—	1	1
たばこ	1	2	1	—	1	—	2	—	—	3
火 遊 び	—	1	—	2	—	1	2	1	—	1
石 油 器 具	—	—	1	—	—	1	—	3	—	—
電 気 器 具	—	1	—	—	—	—	—	2	—	2
電 気 関 係	1	—	2	2	—	—	1	—	1	—
自 動 車 関 係	2	1	—	1	—	1	2	—	—	—
溶 接 関 係	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
煙 突	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風 呂 釜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放 火	—	3	1	4	3	2	1	2	—	—
不 審 火	—	1	3	—	—	2	2	1	—	—
ガ ス 器 具	2	1	—	1	—	3	1	—	—	—
落 雷	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
飛 火	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—
プ ロ パ ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
爆 発	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
口 ー ソ ク	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	5	6	1	3	4	2	4	3	3
不 明	—	—	—	1	4	4	1	4	3	—
電灯・電話等の配線	—	—	1	—	—	—	1	1	2	…
衝突の火花(車両火災)	—	—	—	—	—	—	—	1	1	…

注：表中「電灯・電話等の配線」「衝突の火花(車両火災)」については、平成11年中から原因別に計上されるものであるため、平成10年までは空欄となっている。

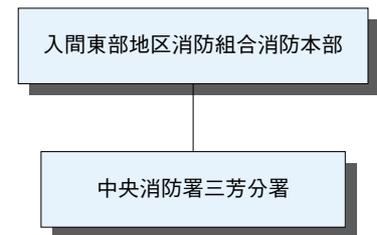
(資料：入間東部地区消防組合)

◆ 消防組織図

●非常備



●常備



財 政

◆ 普通会計決算概況

(金額単位：千円)

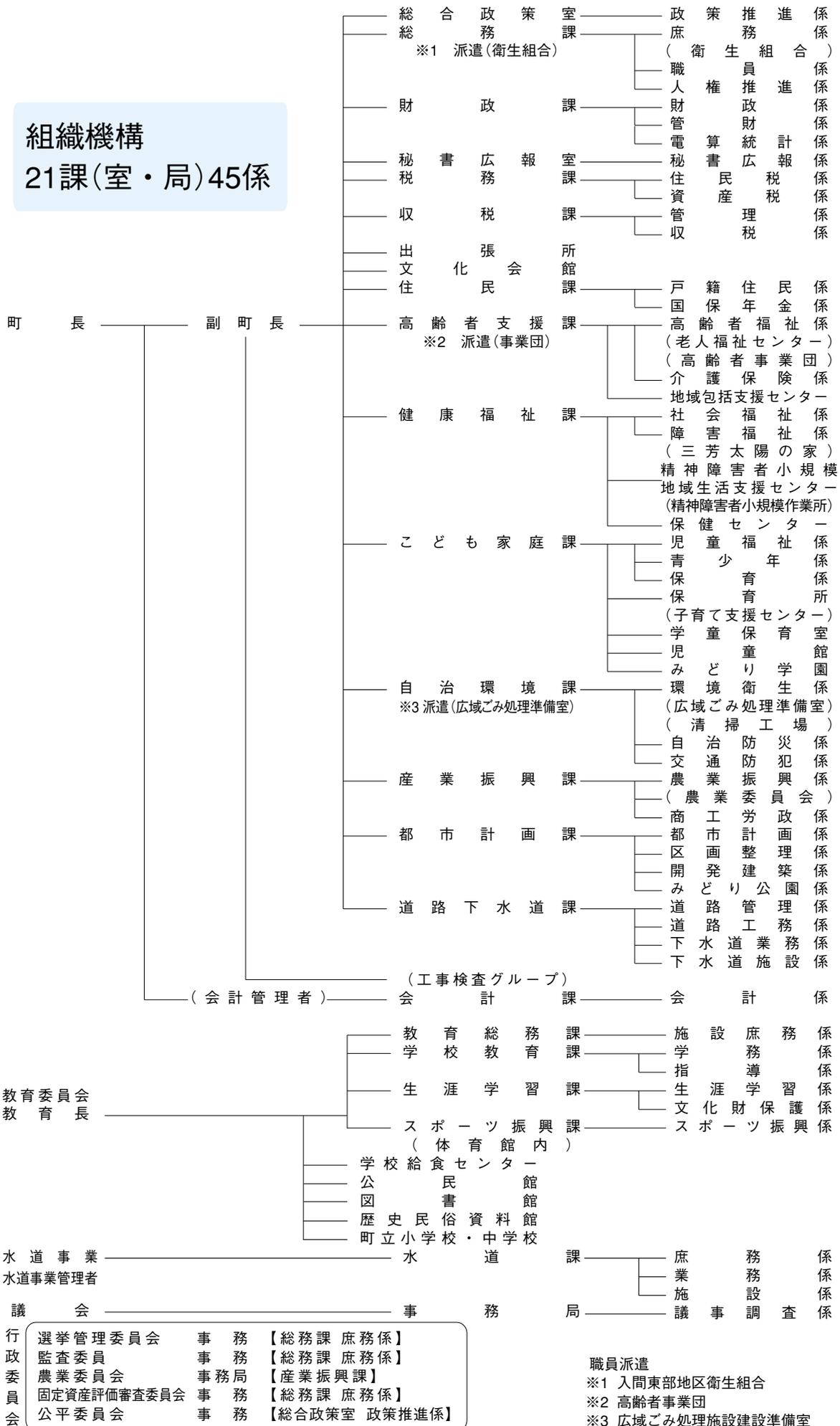
区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	平成11年度
歳 入 総 額 (A)	11,232,918	12,244,905	11,189,413	10,489,383	10,547,342	11,353,190	10,608,942	10,637,309
歳 出 総 額 (B)	10,562,170	11,670,467	10,581,332	10,036,474	10,226,063	10,828,020	10,064,273	10,177,094
歳 入 歳 出 (A)-(B)=(C)	670,748	574,438	608,081	461,909	321,279	525,170	544,669	460,215
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	34,996	—	—	—	—	79,901	—
実質収支 (C)-(D)=(E)	670,748	539,442	608,081	461,909	321,279	525,170	464,768	460,215
単年度収支=(E)-(前年度実質収支)	131,306	△ 68,639	146,172	140,630	△ 203,891	60,402	4,553	185,546
実質収支比率=(E)/標準財政規模(%)	8.3	6.9	8.1	6.4	4.1	6.7	5.8	5.8
公 債 費 率 (%)	9.7	10.8	11.7	11.7	12.5	12.1	12.9	12.9
財政力指数 (過去3ヵ年の平均値)	1.21	1.16	1.11	1.06	1.03	1.00	1.01	1.01

三芳町行政機構図

(平成20年4月1日現在)

組織機構

21課(室・局)45係



◆ 歴代議長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	池上善兵衛	昭和21.11.15	昭和22. 4.29
2	林 榮 則	22. 6.14	26. 4.29
3	金 谷 英 男	26. 5. 9	30. 4.29
4	江 原 貞 一	30. 5.12	33.12.16
5	中 島 忠 内	34. 1. 9	34. 4.30
6	鈴 木 輝 治	34. 5. 7	38. 4.30
7	稲 垣 静 雄	38. 5.10	42. 4.30
8	高 橋 岩 雄	42. 5. 4	46. 4.30
9~11	武 田 春太郎	46. 5.11	49. 4.23
12	山 田 義 夫	49. 4.23	50. 4.30
13	山 田 義 夫	50. 5.13	51. 4.27
14	細 谷 熙 美	51. 4.27	52. 4.28
15	山 田 義 夫	52. 4.28	53. 3.29
16	山 田 要	53. 3.29	54. 4.30
17	山 田 要	54. 5. 9	55. 4.30
18	鈴 木 政 雄	55. 4.30	56. 4.22
19	細 谷 熙 美	56. 4.22	57. 4.26
20	川 口 一 雄	57. 4.26	58. 4.30
21~22	鈴 木 政 雄	58. 5. 6	60. 4.30
23~24	藤 原 朝 之	60. 4.30	62. 4.30
25	鈴 木 政 雄	62. 5. 8	63. 4.28
26~27	高 橋 三 次	63. 4.28	平成2. 4.26
28	古 寺 五 一	2. 4.26	3. 4.30
29	菅 原 哲 男	3. 5. 8	4. 4.27
30	高 橋 忠	4. 4.27	5. 4.26
31	窪 田 利 男	5. 4.26	5.12. 7
32~33	菅 原 哲 男	5.12. 7	7. 4.30
34	板 垣 清	7. 5.10	8. 4.30
35	森 田 陽太郎	8. 4.30	9. 4.28
36	森 田 陽太郎	9. 5. 2	10. 4.17
37	久 保 俊 和	10. 4.17	11. 4.30
38	池 上 哲 児	11. 5.12	12. 4.27
39	鈴 木 英 美	12. 4.27	13. 4.25
40~41	久 保 俊 和	13. 4.25	15. 4.30
42	鈴 木 英 美	15. 5.16	16. 4.28
43	板 垣 清	16. 4.28	17. 4.25
44	深 澤 勝 子	17. 4.27	18. 4.24
45	秋 坂 豊	18. 4.24	18.11.22
46	加 茂 淳 子	18.11.22	19. 4.30
47	秋 坂 豊	19. 5.15	

(資料：議会事務局)

46	原 武 範	18.11.22	19. 4.30
47	光 下 重 之	19. 5.15	

(資料：議会事務局)

◆ 歴代副議長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	清 水 貞 助	昭和22. 6.14	昭和26. 4.29
2	古 寺 貞太郎	26. 5. 9	30. 4.29
3	早 川 長之助	30. 5.12	34. 1. 9
4	池 上 鍋 吉	34. 1. 9	34. 4.30
5	清 水 長 次	34. 5. 7	38. 4.30
6	古 寺 道 顕	38. 5.10	42. 4.30
7	武 田 春太郎	42. 5. 4	45. 4. 2
8	古 寺 道 顕	45. 4. 2	46. 4.30
9	山 田 要	46. 5.11	47. 4.26
10~12	細 谷 熙 美	47. 4.26	50. 4.30
13	田 村 寛 衛	50. 5.13	51. 4.27
14	近 藤 永 蔵	51. 4.27	52. 4.28
15	池 上 猪之吉	52. 4.28	53. 3.29
16	鈴 木 政 雄	53. 3.29	54. 4.30
17	川 口 一 雄	54. 5. 9	55. 4.30
18	江 原 茂	55. 4.30	56. 4.22
19	鈴 木 春 吉	56. 4.22	56. 6.12
20	山 田 芳 国	56. 6.23	57. 4.26
21	落 合 佐知次	57. 4.26	58. 4.30
22	抜 井 太 吉	58. 5. 6	59. 4.27
23	林 孝 次	59. 4.27	60. 4.30
24	千川原知義	60. 4.30	61. 4.30
25	古 寺 五 一	61. 4.30	62. 4.30
26	菅 原 哲 男	62. 5. 8	63. 4.28
27	伊 藤 豊 次	63. 4.28	平成元. 4.28
28	内 田 晴 晤	平成元. 4.28	2. 4.26
29	高 橋 忠	2. 4.26	3. 4.30
30	窪 田 利 男	3. 5. 8	4. 4.27
31	板 垣 清	4. 4.27	5. 4.26
32	森 田 陽太郎	5. 4.26	6. 4.25
33	深 澤 勝 子	6. 4.25	7. 4.30
34	久 保 俊 和	7. 5.10	8. 4.30
35	池 上 哲 児	8. 4.30	9. 5. 2
36	高 山 睦 雄	9. 5. 2	10. 4.17
37	鈴 木 英 美	10. 4.17	11. 4.30
38	山 田 延 秋	11. 5.12	12. 4.27
39	秋 坂 豊	12. 4.27	13. 4.25
40	横 田 英 明	13. 4.25	14. 4.24
41	高 山 睦 雄	14. 4.24	15. 4.30
42	加 茂 淳 子	15. 5.16	16. 4.28
43	鈴 木 周 一	16. 4.28	17. 4.27
44	高 橋 忠 一	17. 4.27	18. 4.24
45	古 寺 貞 之	18. 4.24	18.11.22

(資料：議会事務局)

三芳町 ✦ 歳時記

5月



子どもフェスティバル

Children's Festival

毎年5月の第2日曜日に開催されます。さまざまなゲームやイベントが催されるほか、子ども神輿や子どもたちによる踊りなどが披露されます。

春



竹間沢こぶしの里

Chikumazawa Kobushi-no-sato

わき水が小川となって流れている緑豊かな公園です。春にはコブシの花をはじめ、ニリンソウやヤマザクラなど、多くの花が訪れる人を楽しませてくれます。

9月



みよしまつり

Miyoshi Festival

夏の終わりを彩る三芳町の一大イベントです。9月の第1土曜日に、運動公園を会場に、太鼓や輪踊り、模擬店などで盛り上がります。最後に花火が打ち上げられます。

10月



町民体育祭

Town Athletic Festival

10月初旬、運動公園を会場に、熱く盛り上がります。地区対抗の競技などが行われ、子どもからお年寄りまで、みんなが楽しめるイベントとなっています。

町民文化祭

Town Cultural Festival

11月初旬、コピスみよしと公民館を会場に開催される、文化芸術の祭典です。活動を発表したり、また芸術にふれる場として開催されています。

11月



産業祭/福祉まつり

Industrial Festival / Welfare Festival

11月の第2日曜日、運動公園を会場に産業祭が行われ、新鮮な地元野菜などの販売が行われています。同時にコピスみよしを会場に、福祉まつりも開催されます。



三芳町役場

Miyoshi Town Hall

MAP 3-D

大字藤久保1100番地1 Tel.049-258-0019

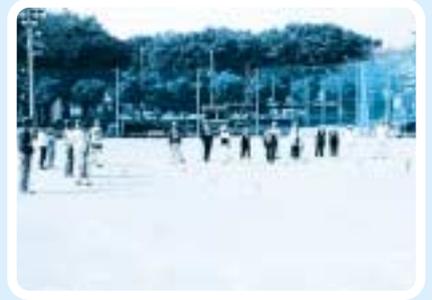


文化会館「コピスみよし」

Culture Hall Coppice Miyoshi

MAP 3-D

大字藤久保1100番地1 Tel.049-259-3211



運動公園

Sports Park

MAP 3-D

大字藤久保1118番地1 Tel.049-259-3135



総合体育館

Municipal Gymnasium

MAP 3-D

大字藤久保1100番地1 Tel.049-258-0371



中央図書館

Central Library

MAP 2-D

大字藤久保185番地1 Tel.049-258-6464



中央公民館

Central Public Hall

MAP 3-C

大字北永井359番地1 Tel.049-258-0050



藤久保公民館

Fujikubo Public Hall

MAP 2-D

大字藤久保185番地1 Tel.049-258-0690



竹間沢公民館

Chikumazawa Public Hall

MAP 3-E

大字竹間沢555番地1 Tel.049-259-8311



子育て支援センター

Child-nurturing Support Center

MAP 2-D

大字藤久保222番地20 Tel.049-258-5106



歴史民俗資料館

Historical Folklore Date Library

MAP 3-E

大字竹間沢877 Tel.049-258-6655



旧島田家住宅

Old Shimada Family's house

MAP 3-B

上富1279番地3 Tel.049-258-0220



保健センター

Public Health Center

MAP 2-D

大字藤久保185番地1 Tel.049-258-1236

1



至ふじみ野市

至川越IC

川越市

県道 さいたまふじみ野所沢線

三芳パーキングエリア

宮本ふれあいの森

2

清掃工場 太陽の家
老人福祉センター
(ふれあいセンター)

スマートIC

多福寺

木ノ宮地蔵堂

三芳町多福寺
県自然環境保全地域

ケヤキ並木

旧島田家住宅
農業センター

学校給食センター
三芳中学校

3



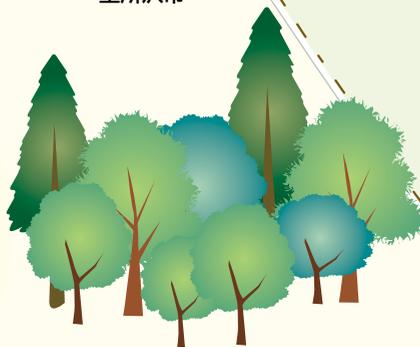
上富小学校

県道 さいたまふじみ野所沢線

至所沢市

所沢市

4





三芳町

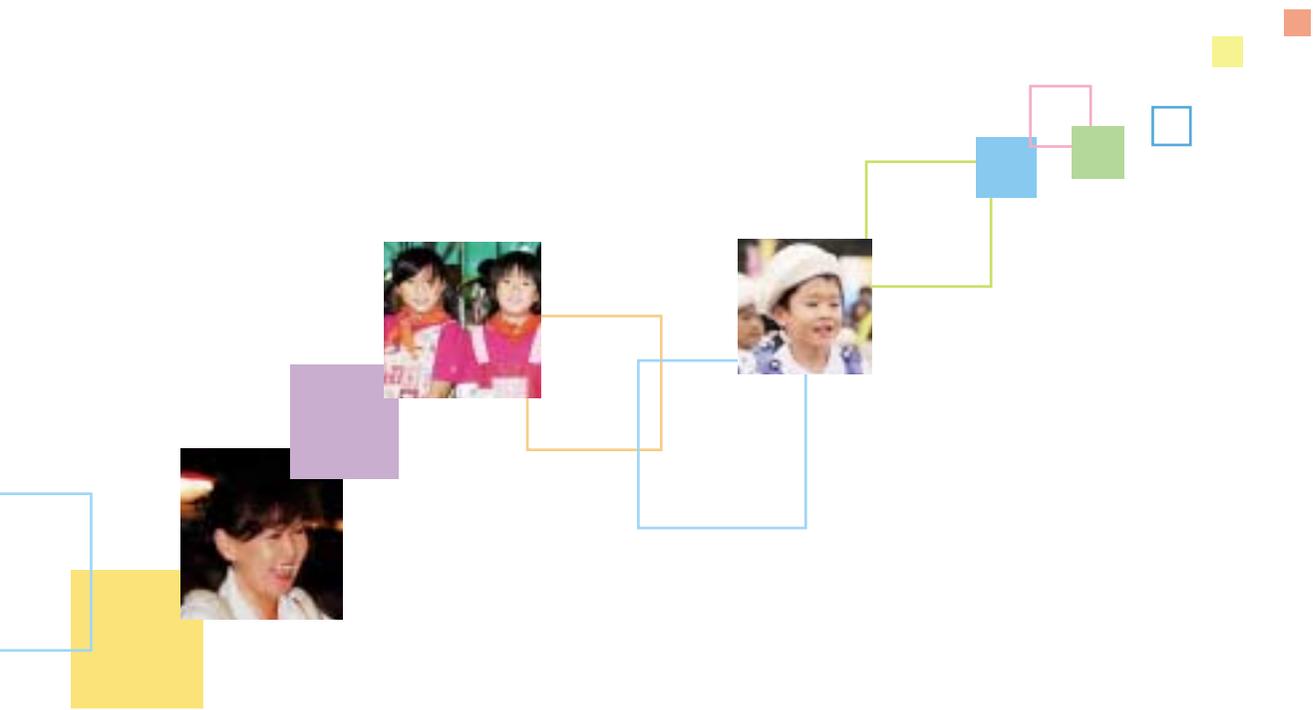
イラストマップ

Illustration Map of Miyoshi Town

ふじみ野市

富士見市





発行：三芳町役場
〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100番地1
電話 049-258-0019 (代表)
発行年月：平成20 (2008) 年3月
<http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/>

制作：(株) ジャパンインターナショナル総合研究所

Published by Miyoshi Town / March, 2008

1100-1, Ohaza Fujikubo, Miyoshi Town,
Iruma-gun, Saitama Prefecture
Edited by Miyoshi Town Hall
Produced by Japan International Institute, Inc.